

## プロジェクター天吊り金具(EEX-PRKA02)組立説明書

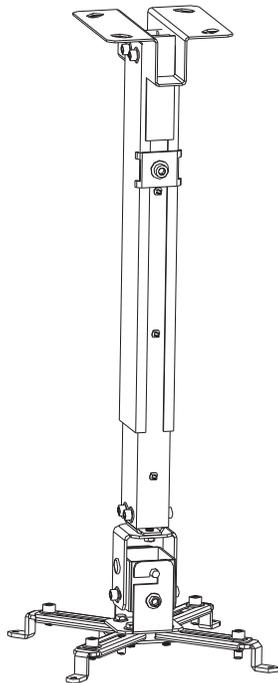
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

### 必ずお守りください

本製品の取付けには特別な技術が必要ですので、  
必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。  
お客様による工事は一切行わないでください。

※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に天井を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方を決めて取付けてください。
- 作業は必ず大人二人以上で行ってください。
- 組立説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を天井に設置後、撤去しますと天井にネジ穴、アンカーが残ります。ご了承ください。
- プロジェクターを長期間設置しますと、プロジェクターの熱や空気の流れて天井が変色することがあります。ご了承ください。



耐荷重 20kg

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>

手袋(組立て時のケガ等を防ぐ為に必ず着用してください)、電動ドリル、プラスチックドライバー、鉛筆

Ver1.1

### 安全上のご注意 (必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。

 この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。

 この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

### ■ 取付け場所について

 **警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

-  強度が不十分な天井や平面でない天井には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のあたる場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
-  エアコンの近くやホコリの多い場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
-  通風孔をふさぐような場所や、壁面には取付けしないでください。火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  天井はプロジェクターと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。芯材がない場所では強度が足りず、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  天井への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。
-  天井にはプロジェクターの重量の4倍の力に耐える強度が必要です。

 **注意** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

-  各家屋によって天井の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に天井を診断のうえ、最適な取付け方法を決めて工事してください。
-  本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。
-  鉄柱や鉄骨には取付けできません。

### ■ 取付け方法について

 **警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

-  重量20kg以上のプロジェクターを取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  専門の取付け工事業者以外は取付け工事を行わないでください。工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  取付け作業中はプロジェクターや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。破損、感電など思わぬ事故の原因になります。
-  部品やプロジェクターに手や指などを挟まないようにご注意ください。

### ■ 取付け後のご使用について

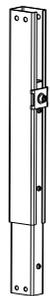
 **警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

-  ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  ぶら下がったり、コードを引っ張るなど、荷重をかけないでください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  ボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。不用意に行くと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  異常が発生した時は電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。そのまま使用すると、落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
-  お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

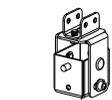
## 組立て部品



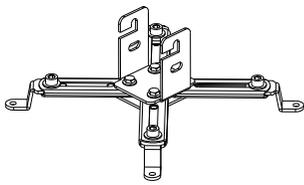
①天井ブラケットA×1個



②支柱B×1個



③連結金具C×1個



④プロジェクターブラケットD×1個



⑤カバーE×1個



⑥ボルトM-A×6本(M5×10)



⑦ボルトM-B×4本(M6×10)



⑧ボルトM-C×4本(M5×8)



⑨ボルトM-D×4本(M4×8)



⑩ボルトM-E×4本(M3×8)



⑬ワッシャーM-H×10枚



⑯六角レンチM-K(4mm)×1本



⑲ボルトW-A×4本(6.3×55)



⑪ワッシャーM-F×4枚



⑭樹脂ワッシャーM-I×2枚



⑰六角レンチM-L(5mm)×1本



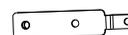
⑳アンカーW-B×4本



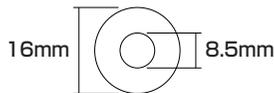
⑫ワッシャーM-G×4枚



⑮ワッシャーM-J×4枚



⑱アーム(大)M-M×2枚



㉑ワッシャーW-C×4枚

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-PRKA02)と上記の部品番号(①～㉑)と部品名(ワッシャーW-Cなど)をお知らせください。

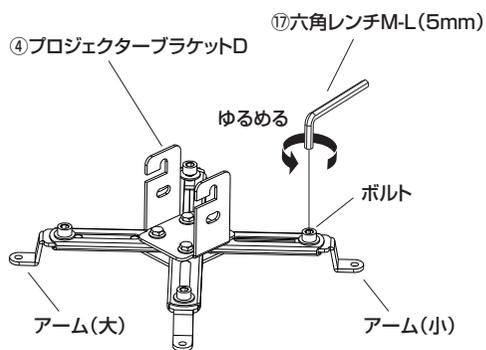
## 取付けの前に

⚠ 周辺機器との接続に必要なコード類は長さや配線方法を事前に計画・準備してください。  
取付けた後からでは、プロジェクターの形状や取付け位置によって、接続や配線が困難な場合があります。

⚠ 各家屋によって天井の構造や強度は異なります。  
本書に記載してある取付け方法を参考にして、工事業者様が専門的に天井を診断の上、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて工事してください。

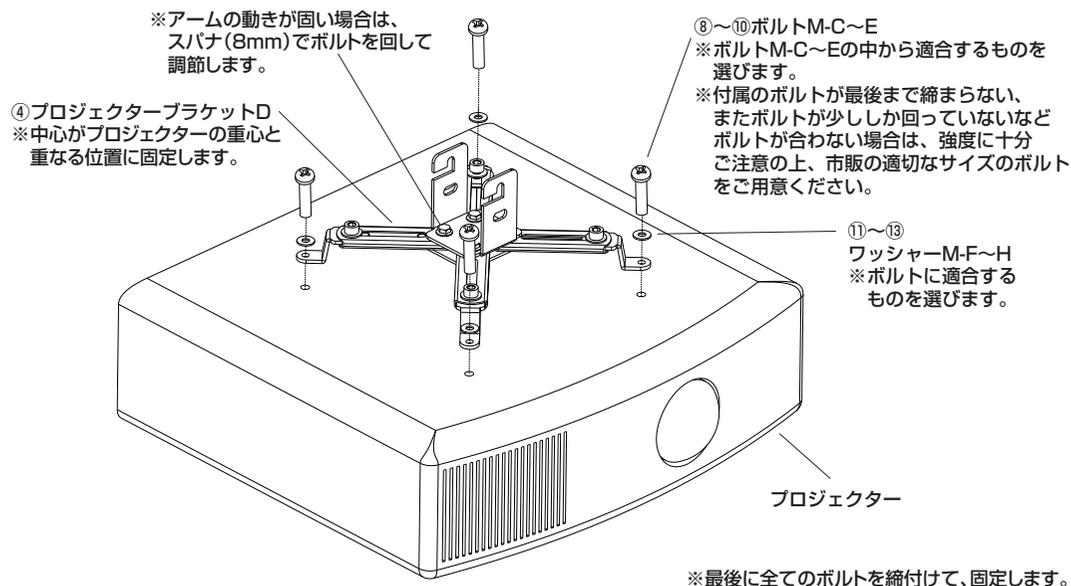
## 直径175～225mmの円の中にネジ穴が収まる機種

### 1. プロジェクターブラケットDのアームのボルトをゆるめます。



※同様に、全てのアームのボルトをゆるめます。

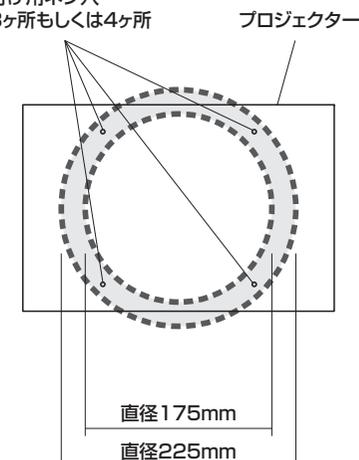
### 2. プロジェクターブラケットDをプロジェクターに取付けます。



### <対応機種サイズ>

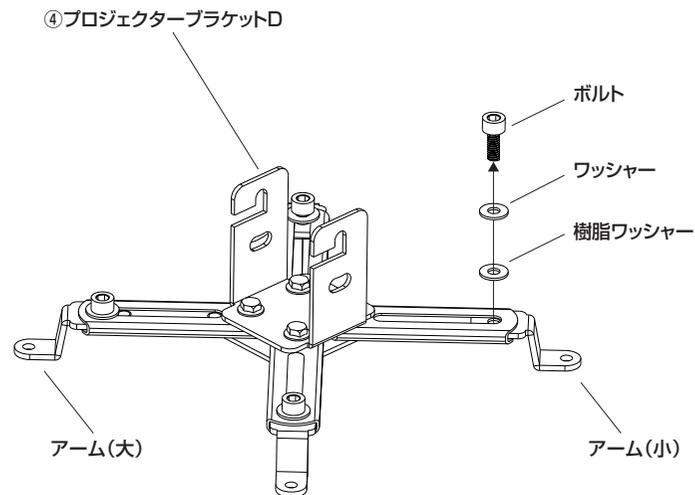
直径175～225mmの円の中にネジ穴が収まる機種

取付け用ネジ穴  
※3ヶ所もしくは4ヶ所



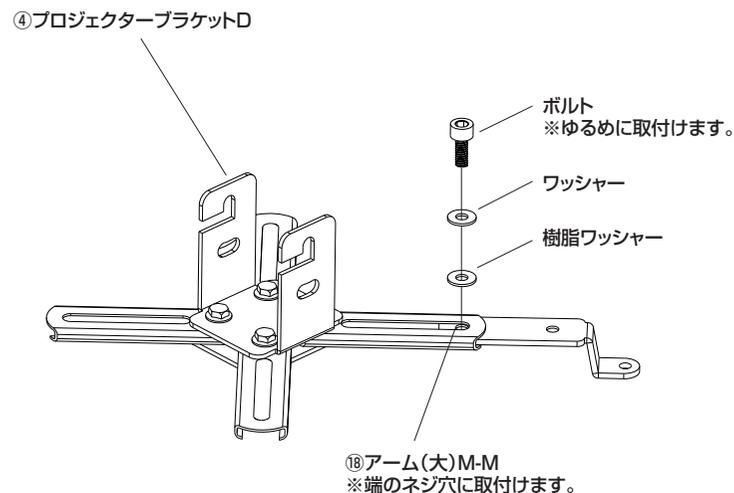
直径225～316mmの円の中にネジ穴が収まる機種

### 1. プロジェクターブラケットDのアームを取外します。



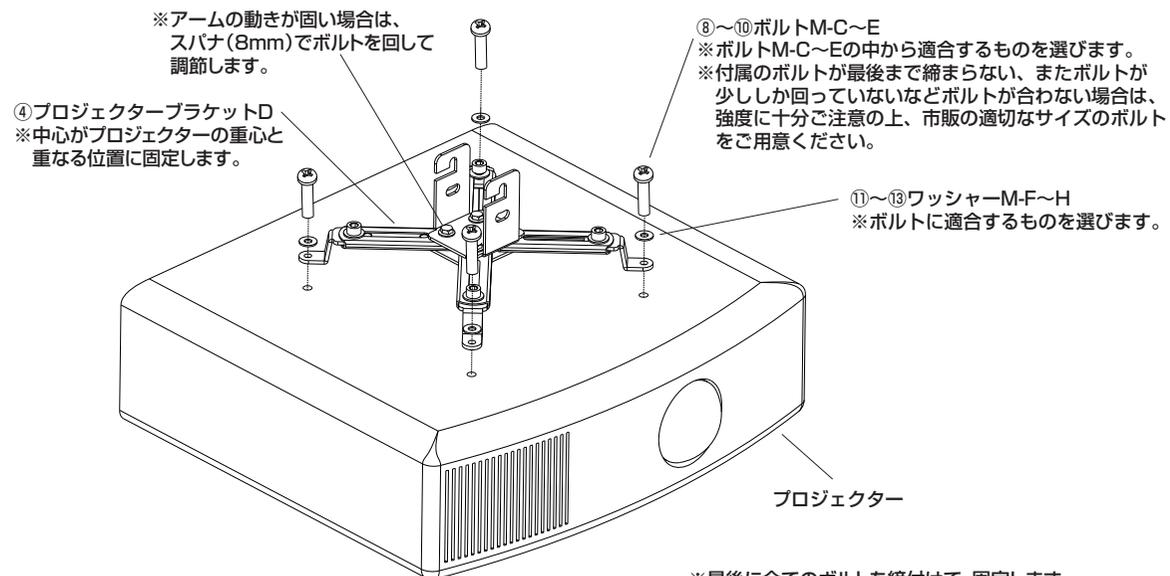
※同様に、全てのアームを取外します。

### 2. プロジェクターブラケットDにアーム (大) M-Mを取付けます。



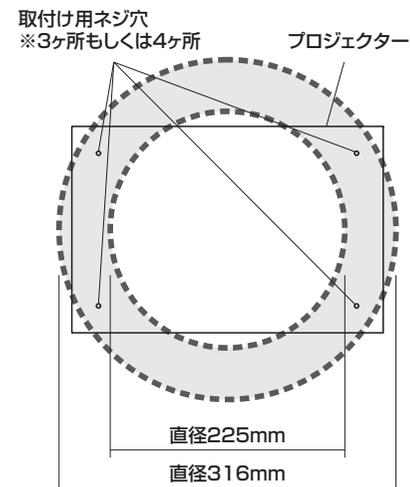
※同様に、全てのアームを取付けます。

### 3. プロジェクターブラケットDをプロジェクターに取付けます。

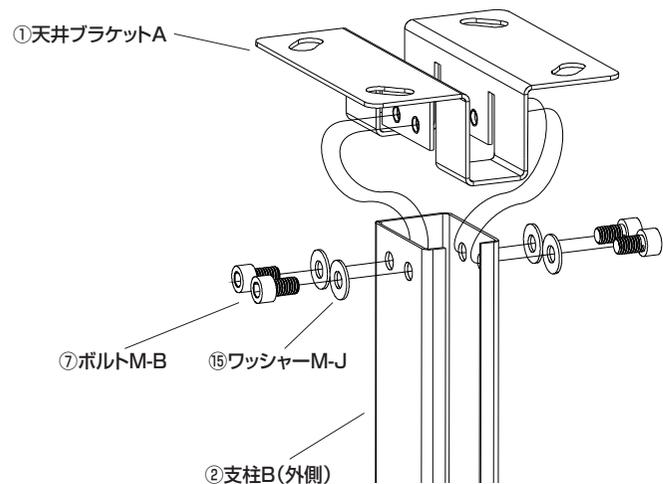


#### <対応機種サイズ>

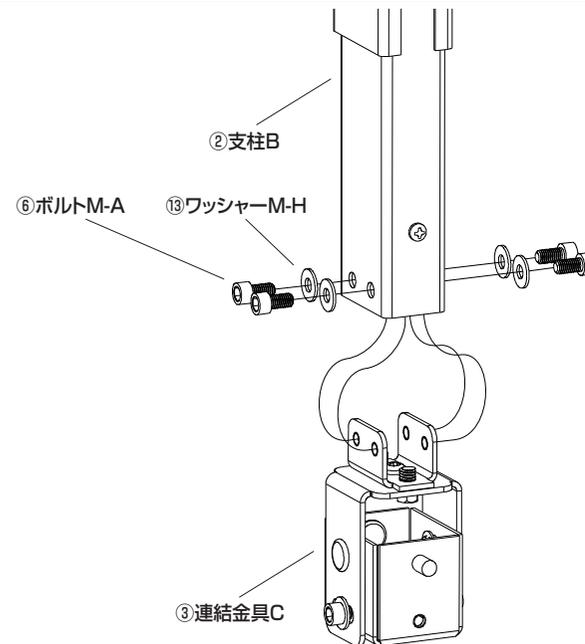
直径225～316mmの円の中にネジ穴が収まる機種



#### 4.天井ブラケットAに支柱Bを取付けます。



#### 5.支柱Bに連結金具Cを取付けます。

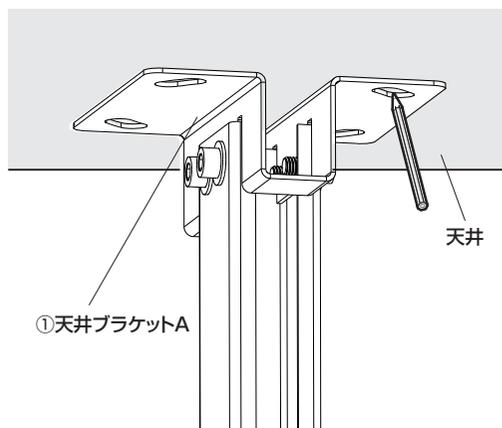


#### 6. 天井ブラケットAを天井に取付けます。

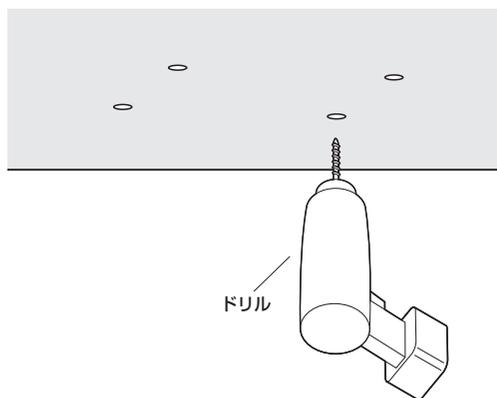
※必ずコンクリートの天井か、もしくは天井の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。天井はプロジェクターと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

##### <コンクリートの天井への取付け>

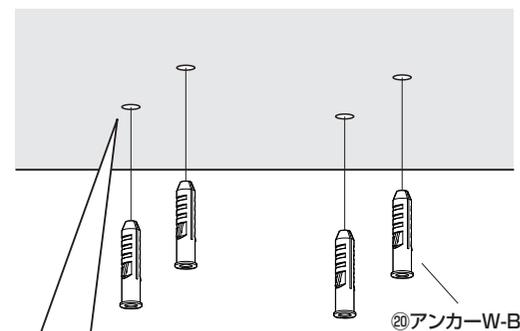
- ①天井ブラケットAを設置する天井に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置4ヶ所に印をつけます。



- ②ドリルを使い壁に印をつけた4ヶ所に直径10mm、深さ約60mmの下穴をあけます。



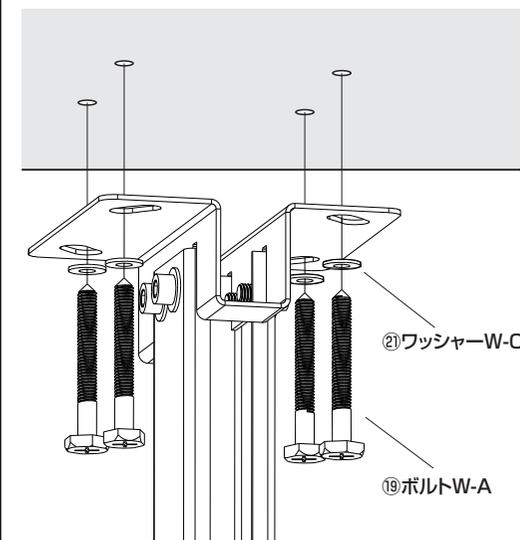
- ③下穴にアンカーW-Bを差し込みます。



##### 横から見た断面図



- ④天井ブラケットAをボルトW-Aで固定します。

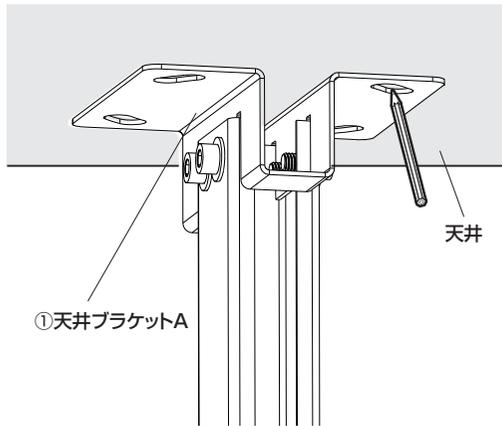


## 6. 天井ブラケットAを天井に取付けます。(続き)

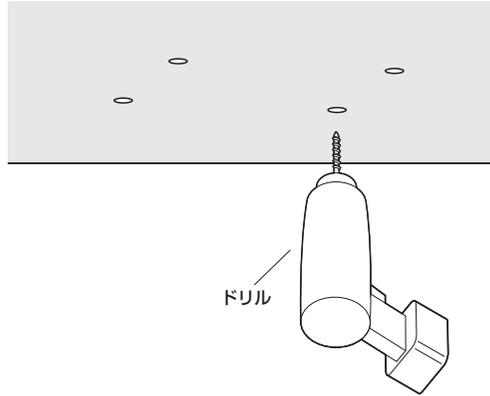
※必ずコンクリートの天井か、もしくは天井の内部に木製の芯材がある場所を取付けてください。天井はプロジェクターと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

### <木製の芯材がある天井への取付け>

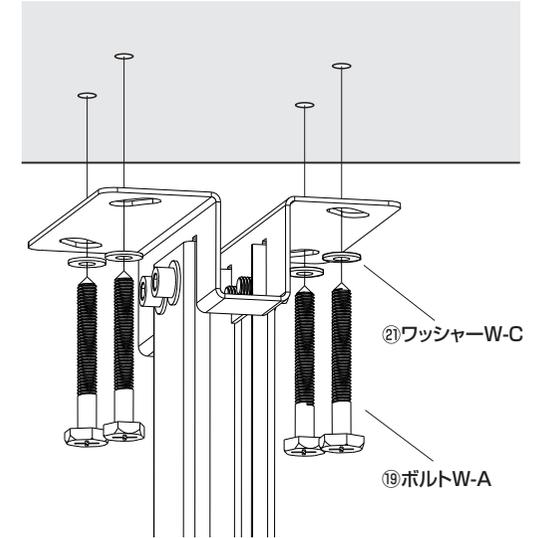
- ①天井ブラケットAを設置する天井に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置**4ヶ所**に印をつけます。



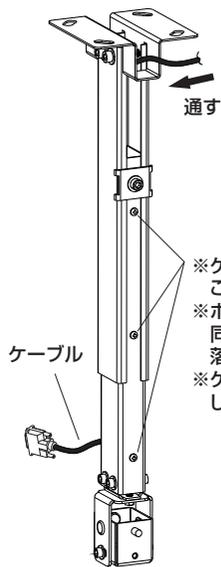
- ②ドリルを使い壁に印をつけた**4ヶ所**に直径4.5mm、深さ約55mmの下穴をあけます。



- ③天井ブラケットAをボルトW-Aで固定します。



## 7. 支柱Bにケーブルを通します。

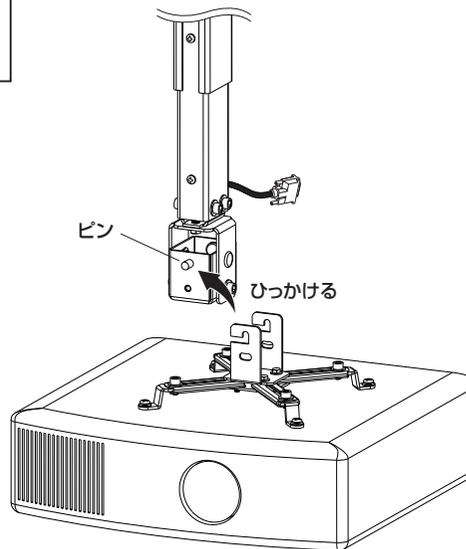


- ※ケーブルが通しにくい場合はこのボルトをゆるめてください。
- ※ボルトは1本ずつゆるめてください。同時にゆるめると、支柱Bが外れて落下する恐れがあります。
- ※ケーブルを通した後は、ボルトをしっかりと締付けてください。

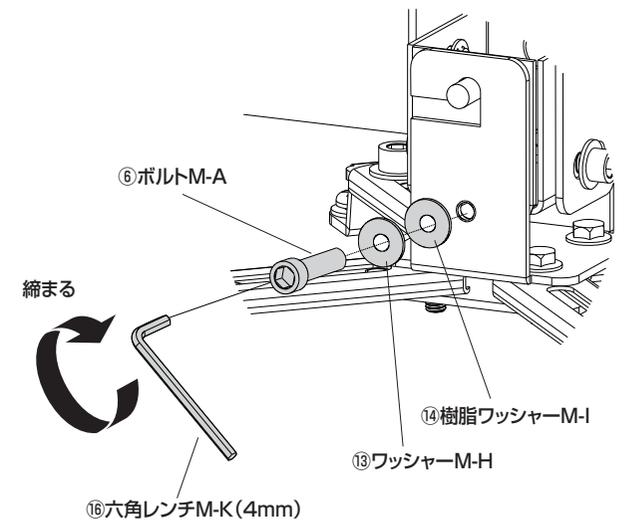
## 8. プロジェクターブラケットDを連結金具Cに取付けます。

- ①プロジェクターブラケットDを連結金具Cのピンにひっかけます。

<注意>  
手や指などを挟まない  
ようにご注意ください。



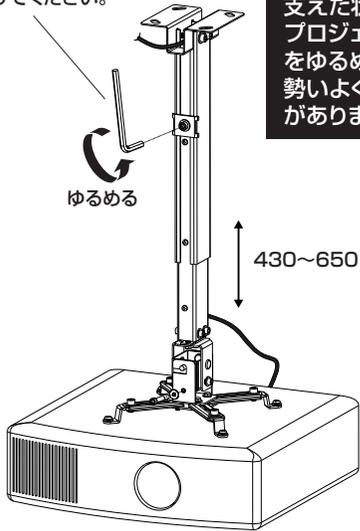
- ②ボルトM-Aで固定します。



## 9.支柱Bの高さを調節し、カバーEを取付けて完成です。

①支柱Bのボルトをゆるめて高さを調節します。

①六角レンチM-L(5mm)  
※調節後はボルトをしっかりと  
締め付けてください。



＜注意＞

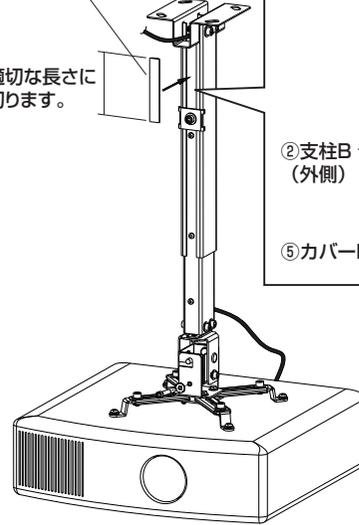
高さの調節はプロジェクターを支えた状態で行ってください。プロジェクターを支えずにボルトをゆるめると、プロジェクターが勢いよく落下し、ケガをする恐れがあります。

＜注意＞

手や指などを挟まないようにご注意ください。

②カバーEを取付けます。

⑤カバーE  
※適切な長さに  
切ります。



広い方を外側にして、押し込みます。

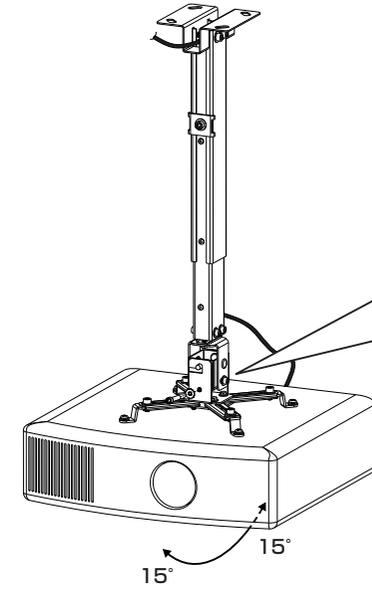
②支柱B  
(外側)

⑤カバーE

狭い

広い

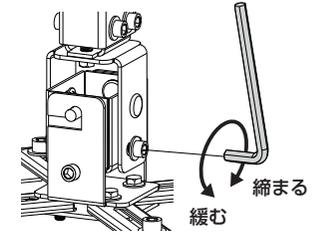
## 各部の調節、及び可動範囲



＜注意＞

各部の調節はプロジェクターを支えた状態で行ってください。プロジェクターを支えずにボルトをゆるめると、プロジェクターが勢いよく落下し、ケガをする恐れがあります。

プロジェクターの前後の角度を調節することができます。調整後はしっかりと締め付けてください。



## 安全の為に注意していただく点

- ⚠ プロジェクターはボルトでしっかりと固定してください。
- ⚠ 可動部分で指をはさまないように気を付けてください。
- ⚠ プロジェクターの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。
- ⚠ 本製品を振動のある所に設置しないでください。
- ⚠ 20kgを超えるプロジェクターは取付けないでください。
- ⚠ 室温の元で操作してください。
- ⚠ 2ヶ月毎を目安に、ボルトを締め直してください。

以上の点に注意して取扱ってください。

## 製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お問い合わせの販売店までお気軽にご相談ください。

BJJ/AI/RK06c